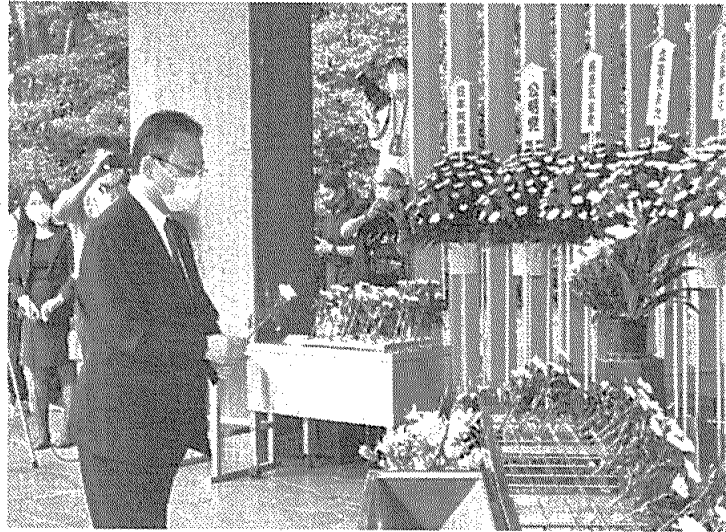


シベリア抑留 風化させない

高木国対委員長 追悼の集いで献花

献花する高木国対委員長
23日 東京・千代田区



公明党の高木陽介国会対策委員長は23日、東京都千代田区の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で開かれた「シベリア・モンゴル抑留犠牲者追悼の集い」（シベリア抑留

者支援センター主催）であり、献花した。

この中で高木国対委員長は、抑留の問題について、「与野党を超えて、風化させない取り組みに全力を尽くす」と強調し、実態解明や犠牲者の遺骨収集などの課題解決へ意欲を示した。

シベリア抑留は、第2次世界大戦後、旧ソ連により約60万人の日本人が極寒のシベリアなどで過酷な労働を強いられた問題。

追悼の集いは、今年で18回目。1945年8月23日にスターリンが抑留を命じたことにちなみ、毎年同日に行われている。